



健康福祉部地域包括ケア推進課
電話:082-420-0984



地域共生社会の実現に向けた 認知症の人と家族に対する取り組み

1 概要

誰ひとり取り残さず、地域で共に生きていくことができる社会、「地域共生社会」の実現に向けて、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、認知症の人やご家族への支援体制の強化に取り組む。

2 取組内容

(1) 認知症高齢者等見守り支援事業の拡充

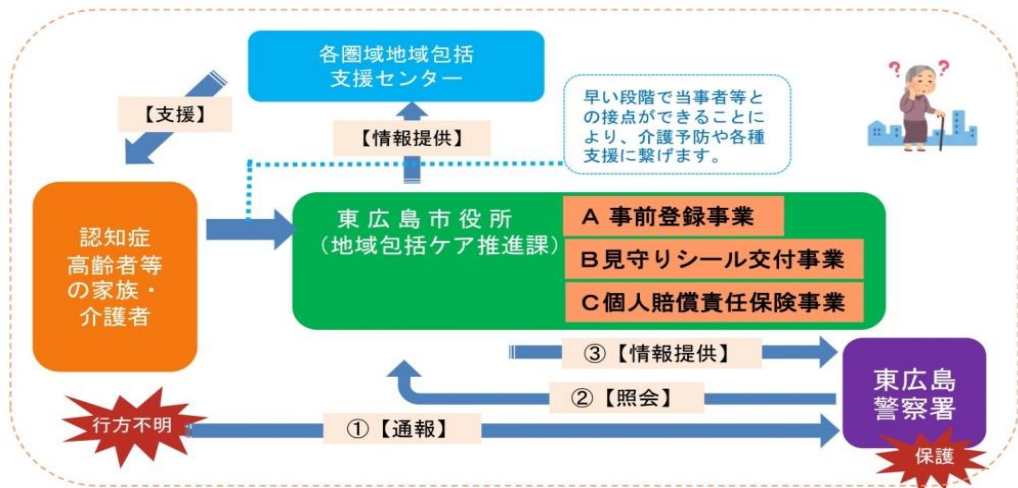
【課題】

高齢化に伴い認知症の人は年々増加している中で、認知機能の低下が現れた段階において、支援に繋げるための当事者又は家族と地域包括支援センター等との接点づくりを強化すること、また、高齢者の徘徊等は、脱水や転倒骨折、交通事故などの危険性もあることなどから、早期発見や身元確認等に繋がる取り組みを充実させる必要がある。

【内容】

行方不明になるおそれのある認知症高齢者等の情報を事前に市が把握し、各圏域の地域包括支援センターと情報を共有することにより、認知症高齢者等及びその家族に対する必要な支援を行う。また、行方不明や保護されたケースでは、東広島警察署に情報提供し、認知症高齢者等の早期発見等に繋げる。

令和3年度から実施している認知症高齢者等見守りシール事業と合わせて、新たに、認知症高齢者等が他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりして法律上の損害賠償を負う場合に備えて、認知症の方を被保険者とする個人賠償保険に市が保険契約者として加入し、保険料の全額を市が負担する。



(2) 脳が喜ぶ！心が笑う！認知症「絵画講座」の開催

【課題】

若年性の方を含め認知症当事者にとって、社会参加の場が十分でない現状があり、その選択肢を増やすことが必要となっている。

【内容】

絵などの作品を楽しみながら作ることによって五感を刺激し、脳の血流量が増加することで脳が活性化するというエビデンスに基づき、臨床美術士による絵画講座を開催する。

また、家族が認知症当事者本人の興味の対象を発見したり、その様子を見ることで、家族間での会話や外出等の機会を増やすきっかけとする。



脳が喜ぶ！心が笑う！
認知症「絵画講座」
2022.8.31 (水) 13:30~15:30
東広島市立美術館 1階アートスペース
問合せ：東広島市基幹型地域包括支援センター
参加無料
ぐるマル 広島県福祉推進センター

(3) 市内全域で「オレンジ会」の立ち上げ

【課題】

各日常生活圏域において、認知症当事者や家族への支援を充実していく上では、関係者の参画を促しながら、活動を直接的又は間接的に展開する基盤の整備が必要となっている。

【内容】

本市ではこれまで、市内のオレンジドクターやオレンジアドバイザー、認知症の人やご家族など関係機関が連携（オレンジ交流会）して認知症の施策を推進してきたが、今後は、加えて日常生活圏域ごとに各地域のニーズに合った取組みを具体的に展開していくため、市内全域において各圏域版の「オレンジ会」を立ち上げる。

(昨年度末までに安芸津・黒瀬・八本松圏域において、「オレンジ会」が立ち上がっている)